

## 当日の流れ

### ① 車両の駐車・PIT使用

参加者用ピットエリアを準備しております。当日指定されたPITをご利用ください。  
原則1PITに2台での使用となりますので、一緒になった方とうまく譲り合ってください。

### ② 参加受付

ドライバーズサロンにて、参加受付を行ってください。  
当日のゼッケンや計測器などをお渡しいたします。

### ③ ブリーフィング

当日のスケジュールの流れ、走行の注意事項などをご説明いたします。また、アドバイザーから、走行に関するアドバイスをいただきます。

### ④ 車両と装備のチェック

ご自分の走行時間に合わせ、マシンの最終チェックをしていただき、走行準備をお願いします。

### ⑤ 1本目走行 20分間

1本目、最初の2周はアドバイザーによる先導走行となります。1列になって、アドバイザーが走行するラインをなぞりながら、安全に速く走るラインを覚えます。また、コースレイアウトなどもここで確認してください。

2周走行したら、先導車に続いて全員ピットインします。その後はチェッカーが出るまでフリー走行。1本目の走行は、アドバイザーも皆さんと一緒にフリー走行しています。

### ⑥ 1本目終わったら

走行は、2グループに分けて走行いたしますので、次のグループが走っている時間は休憩となります。走行を振り返りながらも、再度マシンチェックをしておいてください。

### ⑦ 2本目走行 20分間

2本目は、最初からフリー走行となります。

### ⑧ 2本目終わったら

2本目は、アドバイザーはPITにて皆様からの質問などにお答えいたします。走っていないクラスの方は、疑問に思ったことや分からない事など、どんどん質問してください。

### ⑨ 全員の走行が終わったら・・・

コントロールタワー2Fで終了ミーティングを行います。アドバイザーからその日の総評とアドバイスをいただき終了となります。タイム計測を希望された方はここでタイム表をお配りいたします。

## 《ご参加にあたって》

●イベントでのサーキット走行をご利用頂くにあたって、次の決まりがあります。

① 皆様が気持ち良くご利用頂ける様、サーキットスタッフの指示・指導には快く従って下さい。

② 1回の走行につき、1マシン・1ライダー・1ドライバーです。

一回の走行中、マシンチェンジや運転者の交代を行う事は出来ません。

③ 同乗走行は出来ません。

④ 飲酒運転の禁止

## 《サーキットでのマナー》

### ●喫煙

指定場所(喫煙看板・指定灰皿あり)でのみ可能です。Aパドック・ピット内等では、絶対に喫煙しないで下さい。

### ●Aパドック・ピット

全て火気厳禁です。火花が発生する作業等も禁止します。※暖房器具の使用も不可です。

また、ペットは、いかなる場合でもAパドックへの持込は禁止です。\*盲導犬、介助犬は除きます。

## 《サーキットへはグループで》

### ●サーキット走行はその性質上、危険が伴います。

万一怪我してしまった時、マシンがトラブルに見舞われた時、クラッシュしてしまった時に、最低限帰りの手段を確保して頂く意味でも一人ではなく、お友達・ご家族・ショップのスタッフ等とお越し頂く事をお勧めします。公共の交通機関はありません。

## 《走行前の確認》

### ● 走行する際には、次の事を習慣づけて下さい。

- ① 走行前、走行後の車両の点検・整備(ボルト類・足回り・ブレーキ類・オイル管理など)
- ② 装備の点検

## 個人の装備品

### 1. 《ヘルメット》

皆さんの頭部を守る唯一のアイテムです。規格に通ったヘルメットをご用意下さい。

<例> JIS規格 スネル規格など。製造後少なくとも5年以内の物を推奨いたします。



※一度大きな衝撃を受けたヘルメットは、安全性が著しく低下します。状況により走行をお断りさせて頂く場合がございます。

### 2. 《レーシングスーツ》

長袖、長ズボンでOKです。夏場など暑い時期でも必要になりますので、ご注意ください。

難燃繊維(NOMEX 等)のレーシングスーツを推奨いたします。

### 3. 《レーシンググローブ・シューズ》

指先までおおわれており、滑りにくいグローブをご使用ください。

難燃繊維(NOMEX 等)のレーシンググローブを推奨いたします。《レーシングシューズ(推奨)》

シューズも運転を妨げない範囲のスニーカーでも走行可能です。レーシングシューズが望ましい。



## 車両の装備

### 1. 《シートベルト》

ノーマルの3点式でOKです。本格的に始めたい方は4式以上のフルハーネスタイプを推奨いたします。



### 2. 《ヘッドライト、その他ランプ類》

クラッシュや接触を起こしたときコースへの落下・飛散を防止する為に、ボディに掛かるよう必ずレンズ(アクリル製)面にテーピングを施して下さい。

### 6. 《ロールバー、ロールケージ(推奨)》

- ① 取り付けの義務はありません。軽自動車は取り付けを強く推奨します。
- ② オープンカーで幌(ほろ)を開けて走行する場合、4点式以上のロールバーが必要となります。  
※詳細な仕様についてはお問合せ下さい。

### 9. 《運転席の窓》

**走行中は運転席の窓は全閉**、開ける場合は5cm程度までにする。但し、防護ネットが付いている車両は除く。

### 10. 《けん引フック(強く推奨)》

標準装備のけん引フックを予め取り付けしておいて下さい。最近の車両は、必要な時だけ取り付けるタイプが多くなっております。万一の場合を考慮し、前後に取り付けをお願いいたします。

**※けん引フック未装着車両は、緊急時、車体のパーツ部分をけん引に使用することがあります。**

#### けん引フック取り付け例



↓メーカー純正品でもOK↓



## 走行の注意

### 1. 《コースイン～1周目》

1周目からの全開走行はお避け下さい。第1コーナーを通過するまでコース左端を追い越し禁止で通過して下さい。

遅れてコースインする際は、ストレートを走行してくる車両がないか、必ず後方の**安全**確認を行ってコースインして下さい。

### 2. 《ピットイン》

ピットインする場合、あらかじめ他の走行者に対し合図(ウィンカー)を出して下さい。

合図を出す目安は、最終コーナー付近(23番ポスト先)からです。合図を出し、徐々にスロー走行に入ります。この時、コースの進行方向左端(スロー走行ライン)を走行して下さい。

### 3. 《ピットロード》

① 速度制限 60km/h

### 4. 《ストレートを走行》

ストレートを走行する時、ピットロードよりコースインしてくる車両と走行ラインが重なります。コースインしてくる車両と走行ラインが重ならない事を確認し、ラインチェンジを行ってください。

### 5. 《危険走法》

故意のドリフト走行や、他の走行車両に対し危険と思われる走行は禁止です。

### 6. 《ショートカットコースの横断》

ショートカットコースを使用し、13番ポスト先から最終コーナーへ出る行為は禁止です。

### 7. 《黄旗区間でのスピン、コースアウト、追い越し》

黄旗が出ている区間での危険行為は、2次事故防止の為禁止です。必ず減速、追い越し禁止！

### 8. 《コース復帰方法》

コースアウトしグラベル内から運良くコースへ復帰する場合、グリーン上をしばらく走行してグラベルを落とす事。

## トラブルへの対処

ドライバーが車両から降りなくてはならない場合、自分がいる場所は危険な場所である事を自覚して下さい。自分がミス(コースアウトなど)をした場所は、他の方もミス(コースアウト)する場所です。

### 1. 《故障・事故・スタックの場合》

① 走行中、様々なトラブルによって走行できなくなった場合、すぐに車両を降りて避難して下さい。

この時、コースに背をむけず後方(後続車)を確認しながら避難をしてください。また、避難完了までは絶対にヘルメットは脱がないで下さい。

② 避難の方法は、ガードレールの外側に出るかコンクリートウォールの上に登って下さい。

車両を離れる際はエンジンを切り、キーを抜かずにコースと反対側のドアから避難して下さい。

着脱式ステアリング(フォーミュラ等)の車両は、ステアリングを取付けギヤはニュートラルの位置にした状態で避難して下さい。

③ 車両トラブル等によりエンジンが停止し惰性で動いている状態の場合、余力があるうちに車両を出来るだけコースから離れた場所へ移動させて下さい。

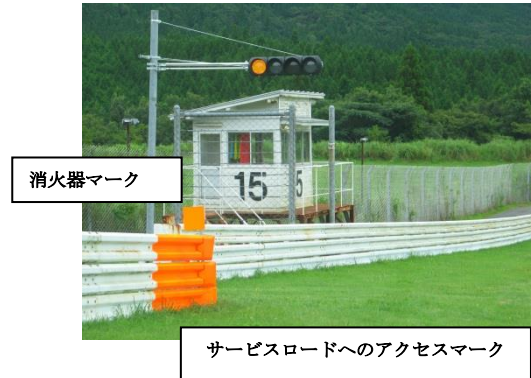
④ 車両がグラベルなどにスタックし動けなくなった場合は、クラッシュなどと同じでレスキューが到着するまで上記②の方法で安全な所に避難して下さい。レスキューから指示があります。

⑤ オイル・砂利等、何らかの原因があつてクラッシュ又は転倒した場合は、第一に安全な場所まで避難して下さい。その場にとどまると、同じ場所に次々とクラッシュや転倒してくる場合があります。

⑥ クラッシュ又は転倒した際に、体が動く場合はコースマーシャルやレスキューに向かってジェスチャーで合図する等、何らかの動作を起こして下さい。また、動作が無い場合は避難不可能と見做しすぐに救助に向かいます。

## 2. 《禁止事項》

- ①友人・知合いが転倒、クラッシュを起こした場合でも、二次的事故防止の為に停止したりしないで下さい。  
(友情ストップの禁止)
- ②火災が発生した場合、消火可能な火災の規模でしたら、付近の消火器や車載の消火器で消火を行ってください。オートポリス設置の消火器は、コース両脇の ■ マーク部分にちどり配列にて約100m間隔で設置しています。一番近い箇所の消火器を使用して消火を行ってください。(危険と判断した場合は避難を優先する)  
この時、コースを横断して消火器を取りに行く行為は大変危険な為 禁止!
- ③走行中、自車の液体(オイル・ガソリンその他)漏れに気付いた場合、自分のピットまで帰るのではなくコース両脇へ早急に車両を退出させて下さい。※近い方のグリーンへ出ること。コース横断禁止!
- ④コース進行方向左側に、サービスロード(レスキュー用通路)を設けております。トラブル等で車両を停止させる場合、左側に停止するとレスキュー作業がスムーズに行えます。
- ⑤車両がトラブルに見舞われた際、ガードレールの開口部より車両をサービスロードに出す事ができます。車両に余力が残っていれば、サービスロードに退出させて下さい。



## 3. 《故障・事故・コースアウト》

様々なトラブルによって走行できなくなった場合、車両が他の走行者に対し危険な場所でしたら周囲の安全を確認し、出来るだけコースから離れた場所へ移動させて下さい。負傷している場合等は、自身の避難を最優先してください。コースアウト復帰の際は、後方をよく確認しコースインしてください。

フラッグや電光掲示板は、コース内の危険や路面情報を皆さんに伝える唯一の手段です。

巻末のフラッグ一覧を御覧頂き見落としや不明な点の無いようご注意ください。尚、フラッグは下図の様なコース脇の監視ポストより出されます。



※走行時間が終わりますと、チェッカーフラッグマークが電光掲示板で提示されます。



●チェッカー…走行終了



●コースクローズ(赤旗等と同じ意味)

## サーキット・フラッグ 一覧表

4輪フラッグ	表示	意味	とるべき行動とケース
緑旗 	振動	走行可能	コースオープン1周回のみ提示 配置ポストの確認をする 前ポストのフラッグ解除
黄旗 	1本振動	危険箇所有	提示されているポスト先のコース外に転倒、停止、クラッシュ等の車両がある ⇒減速、追い越し禁止
	2本振動	より危険な状態	提示されているポスト先のコース上、に転倒、停止、クラッシュ等の車両がある ⇒より減速、追越し禁止、停止準備
	静止	走行終了時	チェッカー後、各配置ポストより提示される ⇒減速、追い越し禁止
赤旗 	振動	走行一時中断	赤旗が提示された周回でピットインする 危険箇所でのトラブル、負傷者が発生した時に出され、走行は一時中断される ⇒減速、停止準備、追越し禁止
白旗 	振動	前方低速車両有	前方に低速走行車両がある
オイル旗 	静止	コース上が滑り易い	コース上にオイル、水溜り、飛散物等があり、路面が滑り易い状態である
黄旗+白旗 	両振動	レスキュー要員、レスキュー車両介入	停止車両を回収する為、レスキュー車両(キャタピラや4WD)がコース内に介入していることを示す ⇒減速、追い越し禁止
チェッカー 	振動	走行終了/ゴール	FCCタワー電光掲示板よりチェッカーが出る。 一周回クールダウン後ピットインする ⇒追越し禁止 (見落としによるチェッカー2回通過厳禁)
日の丸 	振動	スタート	スタート (※シグナルの代わりに使用することがある)
青旗 	振動	後方から速度の速い車両が接近し、追い越そうとしている	目視やミラーなどで確認し、急な進路変更はせず後の車に進路を譲る
オレンジディスク+No 	静止	表示車番の車両に機械的欠陥がある	旗を確認した周回でピットインする 液体漏れ等ある場合、グリーン奥の安全な場所に停止する (※ここでは白文字表示か、指差し)
黒旗+No 	静止	表示車番の車両がルール、マナー違反をしている	確認した周回でピットインする 1番ピット作業エリアで停止し係員の指示を受ける (※ここでは白文字表示か、指差し)

## 破損・消失・消耗について

◆サーキット内にて各種機材・施設を破損又は消失・消耗した場合費用をご負担頂きます。

- ①コース内ガードレール等の防護設備を破損した。
- ② オイル漏れによる、処理・消火器などの消耗品を使用した。
- ③ その他の設備・機材破損した。

◆ 走行に関連して起こった事故・車両の破損については、オートポリスの従業員又はその雇用者は、一切の賠償責任を免除されている事をご了承下さい。

## 保険

### 1. 《スポーツ安全保険》

傷害内容	傷害保険金額		
	(中学生以下)	(大人)	(65歳以上)
保険料	800円	1850円	1200円
死亡	2000万円	2000万円	600万円
後遺障害	3000万円	3000万円	900万円
入院	4000円	4000円	1800円
通院	1500円	1500円	1000円

※死亡・後遺障害、又は負傷による入院・通院をされた場合、規定に沿って保険金が給付されます。

※詳しくは公益財団法人スポーツ安全協会Webをご覧ください。(http://www.sportsanzen.org/)

※転倒・事故により負傷した場合、必ずオートポリス・メディカルセンターにて当日中に診察を受け、必ず記録を残して下さい。この記録がない場合、保険の適用を受けられません。

## COURSE MAP

